

女性活躍推進のための意識醸成事業【宍粟市】



個別事業費	110 千円
交付金額	55 千円

地域の実情と課題

計画改訂に向け、令和6年度に宍粟市において実施したアンケート結果によると、「夫は外で働き、妻は家庭をまもるべきである」という考え方について、平成30年度に実施したアンケート結果よりは改善した傾向にあるが、年代が高くなるにつれて賛成の割合が高くなっていることから、依然として、固定的な性別役割分担意識が存在していることが伺える。また、家庭での役割分担について、夫婦同程度であることが理想であると回答している割合が高い一方で、現実では多くの役割を妻が担っている現状がある。

事業所アンケート調査結果では、男性従業員が育児休業を取得するにあたっての課題や従業員が介護休暇を取得するにあたっての課題について、「代替要員の確保が困難」の割合が高くなっている。また、女性の就労状況は非正規雇用（パートタイム）が68.3%と平成30年度調査の66.2%よりも増加しており、家事育児介護に費やす時間が労働時間に影響を与えていると思われることから、女性の稼得収入は低い傾向にあると分析できる。

事業の特徴

すべての人がともに仕事や家事、子育て、介護、地域活動に参加し、支え合う環境をつくるためには、固定的な性別役割分担意識を解消するとともに、仕事と家庭生活を両立することができるよう、職場や地域等、社会全体で子育てや介護を支えていくための取組が必要である。

令和4年度からは企業・事業所や市民団体、市民、自治会等を対象に男女共同参画社会の研修費用や啓発事業にかかる費用等を補助する制度を設けるなど、意識啓発の契機としている。また、令和5年度、6年度においては本交付金を活用し、市民や企業経営者層に向けたセミナーを開催することで女性活躍のために各々が取り組めることを共有し、企業間で情報交換を行うことができた。

事業の効果

講演では男性学の視点から企業における女性活躍の必要性についての話があり、参加者に対し講演趣旨の理解ができたかを問うたところ、アンケート回答者の100%が「よく理解できた」「理解できた」と回答し、昨年度回答よりその割合が増加した。

目的・目標

宍粟市内企業・事業所へワークライフバランスおよび女性活躍推進を定着させることを目的とする。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	「ワークライフバランス」という考え方について、講演会を通じて認知度を高める。	70% ※R11年度（アウトカム）	35.2% (R6年5月時点)	50.2%
事業KPI	女性活躍が企業にもたらす好影響について「理解できた」と回答した参加者の比率。	90%以上 (アウトカム)	100%	100%

連携団体

地元商工会、兵庫県立男女共同参画センター、公益社団法人兵庫県勤労福祉協会ひょうご仕事と生活センターとの共催による開催。
イベント開催告知については、播磨科学公園都市圏域定住自立圏の中心市、構成町にも周知。

今後の課題

女性活躍推進のためのアンコンシャスバイアスの解消に関する講演会など、企業経営者が女性活躍のために実践できる気づきの機会、組織風土づくりをどのように効果的に推進していくか。

事業の概要

地元商工会との共催による「誰もが自分らしく生きる共同参画社会づくり講演会」を開催

「取材で出会った経営者の心温まる話～誰もが生き活きとした会社になるために～」と題して、男性学の視点から女性活躍のポイントと経営に及ぼす影響を知る内容で実施した。

開催日：令和7年5月27日

場所：宍粟防災センター（兵庫県宍粟市山崎町鹿沢65-3）

講師：水谷もりひと氏

事業目標参加者数50人のところ57人の参加であり、経営者や人事労務担当者が中心の参加者層であった。女性の管理職登用、女性が活躍しやすい環境を進めることは企業の経営にとってメリットがあることを「理解できた」とするアンケート回答者が100%を占め、経営層が女性活躍のポイントを知る機会を設けることができ、本年度目標は達成したと評価できる。

結果・実績

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	「ワークライフバランス」という考え方について、講演会を通じて認知度を高める。	70%※R11 (アウトカム)	35.2% (R6年5月時点)	50.2%
事業KPI	女性活躍が企業にもたらす好影響について「理解できた」と回答した参加者の比率。	90%以上 (アウトカム)	100%	100%

